

防水材

wedi board

# ウェディ 520

ウェディ520セット



攪拌用  
ミキサー羽根 (例)

粉体 2kg



液体 1kg

ウェディボードの表面のセメント層には防水性はありますが長い間水の中にさらされている場合、表面のセメント層に水分が浸潤していく可能性があります。この場合、タイルや石材の接合に使用した接着材の密着性が劣化する可能性があります。その為、長期間水につかった状態で使用する場合にはウェディボード表面に防水材(ウェディ520)の塗布をお勧めします。尚、洗い場やシャワー室などで常時水につかっていない状況では防水材処理は不要です。

## ----- 防水材ウェディ520セットの使用方法 -----

**液体（アクリル系エマルジョン液）と粉体（セメント系接着剤）を1：2で混ぜて使用します。**

\* 計量秤を使って1：2の分量を取り出してください。

ダマが出来ないように液体を先に攪拌容器に計量して入れて、液体を攪拌しながら粉体を少しずつ加えてください。

加え終わったら2分間以上充分に攪拌してください。ムース状の粘調な状態となります。1分間放置してさらに1分程攪拌してください。

\* 攪拌が終わったら、

刷毛または鏝で広げてください。ある程度厚みを均一に（約2mmの目標）塗り広げてください。塗布作業は塗りムラがないように気を付けてください。

\* 作業完了後は1昼夜自然乾燥してください。

硬化後はフィルム状の防止被膜が形成されて水を通すことはありません。

\* 作業時は必ずマスクをしてください。空気中に520の粉体が舞い散る場合にはフィルターの付いた防塵マスクをつけてください。

\* 手に直接付着しない様に手袋を使用してください。

\* 眼の保護にはピッタリとした保護眼鏡をつけてください。



**WAP corporation**

wediboard 販売総代理店

株式会社 ワップコーポレーション

〒541-0046 大阪市中央区平野町2-1-2 沢の鶴ビル8F

TEL 06(6201)5664 FAX 06(6201)5666

info@wapcorp.jp <https://wapcorp-wedi.co.jp/>



# 防水材 ウェディ520 について.....

## ■一般的な性質

2成分系のセメントベースに依る防水膜基材です。

クラックブリッジング性が優れています。

水密性が良く、バルコニーやパティオやシャワールームで柔軟性のある防水層形成材として使用できます。

## ■使用方法

ウェディ520はタイルの下地に柔軟性のある防水膜を形成する為の材料です。

片持ちのバルコニーやシャワールームに使用できます。

タイル工事、屋内屋外の石工事、湿気の多い壁や床などで、この防水性は厳しい規格に合格しています。例:(ANSI A118)

作業では防水テープ又はサブライナー膜と併用で使います。

## ■製品の性質

2成分で、適切な比率で混ぜる事で混ぜりやすくできています。

外的影響を受けにくく経年変化もありません。

クラックブリッジング性に優れており、基材層がクラックした時でも防水性能を發揮します。防水性は凍結の際にも有効です。

## ■施工表面の条件

コンクリートの鋳物表面、軽量コンクリート、インテリアで使われている多孔質のコンクリート、石灰石のプラスターセメント、プラスターボード、古いタイル、ファイバーセメントボード等々。

全ての表面は硬くてしっかりしたものでなくてはなりません。崩れやすい表面でない事。

表面はオイルやグリス、埃、塗装膜 等がない事が大事です。

基材の表面にクラック等がある時は適切な材料を使ってシールしてください。

吸収性の高い物、砂っぽいセメントプラスター、硬石膏(硫酸カルシウムを主成分とする天然結晶)などはプライマーが必要です。焼結物は取り除いてください。

古いタイル、古い塗料膜、カーペットの接着剤等の取り除きにくい物はプライマー処理をしてください。

確信が持てない時は狭い範囲で接着テストを実施してください。

下地に残る湿気は下記のリスト以下であることを確認してください。

セメント下地	2% 以下
硫酸カルシウム下地	0.5%以下
石膏ベースのプラスター	1%

## ■施工方法

2つの事が重要です。

1. 対象区域の全体に処理をする事。
2. 硬化後の厚みが1.6mm以上ある事(2回又は3回塗り後)。

## ■原料の攪拌

粉の原料 1 に対して液体原料を 2 の割合で混ぜてください。

容器にダマが出来ないように攪拌してください。

コテ作業の場合では1:2の比率で攪拌しダマの出来ない様に気をつけてください。

最初の処置は水のバリアー層を形成する為 前面に塗りつけてください。コーナーや凹凸部にも丁寧に塗ってください。パイプの開口部や排水パイプの部分は事前に防水カラーを置き、コーナー部や床と壁面との接続面には防水テープ、コーナーシートをあてがってください。

最初に刷毛塗りが乾いたら更に攪拌した液を塗布し、場合に依り更に塗り重ねてください。

最初の刷毛塗り層が乾いたら2回又は3回 刷毛又はローラーで上塗りをしてください。

防水膜は24時間又は48時間後次の工程に入れます。タイル工事に入ってください。

屋外のタイル工事では防水層に空気だまりが無い様に特に気をつけてください。

## \* 注意事項:

520のセットには別の添加物を加えないで下さい。

520の耐水膜は飲水タンク用としては適していません。

塗布作業は高温の場所、直射日光の場所、風圧の掛るところ、凍るような状態、雨降りの中での作業は避けてください。

\* 使用した道具の後始末:作業完了後は直ぐに使用した道具を水洗いしてください。

## ■技術資料

粉体の材料 :特殊添加剤を加えたモルタルセメント

液体の材料 :アクリル変性エマルジョン

混合比 :液体 1 : 粉体 2

混合物の比重: 1.75 g/cm<sup>3</sup>

反応開始時間:攪拌後3分前後静置してください。

施工可能時間:1~1.5時間(常温で湿度50%の場合)

:温度は5℃以上、30℃以下

乾燥時間 :約2時間(最初の作業完了後)第2層

水分の不浸透性:5℃の場合10時間後、30℃の場合5時間後に性能が發揮されます。

使用可能時間:施工面の上を歩く事の出来る時間は24時間後

:タイル作業に入れる時間は24時間後

:防水性能が完全に發揮する時間は7日後です。

※ 上記の時間は温度が高い時は早くなり、低いと遅くなります。

材料の使用量:攪拌完了3分静置して作業を始めてください。

混合液の比重 1.75kg/リッター

塗布重量 3kg/m<sup>2</sup>

仕上りの色目:グレー